

積算資料ポケット版 住宅建築編 2026年度版

もくじ

本誌の掲載価格は、2025年12月から2026年2月に実施した調査結果に基づく価格です。資材によっては、価格に変動がある場合がありますので、ご注意ください。

● 特集

- I 自然災害に備えた強い家づくり…………… 7
- II 住宅基礎設計の最新動向…………… 119
- III 脱炭素時代のすまいづくり…………… 139

● トピックス

- 「みらいエコ住宅2026 事業」の創設について… 152
- 「労務費に関する基準」について…………… 158
- 住宅外皮マイスター資格制度の概要について… 171

● 設計・見積り実例 …………… 175

● 価格編 …………… 229

- 本書の見方…………… 230
- 木造住宅建築費指数…………… 232
- 主な工種の価格推移…………… 233



■表紙写真提供先

- ①③ 木族の家(213頁掲載)
- ②④ 会津建設(176頁掲載)
- ⑤ 国工務店(198頁掲載)

| | | | |
|---------------|-----------------|---------------|--------------------|
| 1 仮設 | 11 屋根・板金 | 21 ガラス | 31 昇降設備 |
| 2 土地業 | 12 金属 | 22 塗装 | 32 防災・防犯 |
| 3 基礎 | 13 石工事 | 23 内装床 | 33 防蟻防湿 |
| 4 鉄筋コンクリート | 14 タイル | 24 内装壁・天井 | 34 外構・造園 |
| 5 鉄骨・耐火被覆 | 15 左官 | 25 室内装飾・家具 | 35 商業・店舗 |
| 6 ALC | 16 吹付 | 26 住宅設備 | 法規 チエック リストク |
| 7 防水 | 17 外装 | 27 給排水・衛生 | 参考 参考資料 |
| 8 木工事 | 18 金属製 建具 | 28 給湯設備 | 索引 索引 |
| 9 木材 | 19 木製建具 | 29 冷暖房・空調 | 書店 取扱書店 |
| 10 断熱・気密 | 20 建具・金物 | 30 電気設備 | |

●中扉はこの見出しでお引きください

1 仮設工事

| | |
|-----------------|-----|
| 仮設工事の見積り 概要 | 236 |
| 仮設工事 | 239 |
| 解体工事 | 242 |
| 建設機械賃貸料金 | 243 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 仮設材 | 244 |
| 仮設材リース・建設機械賃貸料金 | 247 |

2 土・地業工事

| | |
|---------------|-----|
| 土・地業工事の見積り 概要 | 250 |
| 土・地業工事 | 252 |
| 仮設鋼材賃貸料金 | 253 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 土・地業工事 | 254 |

3 基礎工事

| | |
|-------------|-----|
| 基礎工事の見積り 概要 | 256 |
| 基礎工事 | 258 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 基礎鉄筋 | 260 |
| 鋼製束 | 261 |
| 床下換気 | 262 |
| 基礎パッキン他 | 263 |
| 地下室 | 263 |

4 鉄筋コンクリート工事

| | |
|------------|-----|
| 鉄筋コンクリート工事 | 266 |
| 鉄筋・生コンクリート | 268 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 型枠材 | 270 |

5 鉄骨・耐火被覆工事

| | |
|------------|-----|
| 鉄骨・耐火被覆工事 | 274 |
| 鋼材・ボルト | 276 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 耐火被覆材 | 284 |

| | |
|---------|-----|
| 鉄骨工事用資材 | 285 |
|---------|-----|

6 ALC工事

| | |
|------------|-----|
| ALC工事 | 288 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| セメント板 | 290 |
| ALC板他 | 291 |

7 防水工事

| | |
|------------------------|-----|
| 防水工事の見積り 概要 | 294 |
| シーリング材の適材適所表 | 296 |
| 防水層の保護・仕上げと 適用部位・用途 | 298 |
| 防水工事 | 300 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 防水材 | 301 |

8 木工事

| | |
|-----------------------|-----|
| 木工事の見積り 概要 | 308 |
| プレカット加工料金・木工事の 概算費 | 310 |
| 在来軸組工法 | 311 |
| 枠組壁工法 (2×4) | 312 |
| 接合金物 | 314 |
| ボード張り工事 | 323 |
| 造作工事 | 326 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 耐震補強・耐震金物 (接合金物他) | 329 |
| 床下地材 | 334 |
| 壁・天井材 | 334 |
| 造作部材他 | 336 |

9 木材

| | |
|------------------|-----|
| 一般木材 | 344 |
| 枠組壁工法 (2×4) 構造用材 | 354 |
| 合板 | 355 |
| 集成材 | 356 |
| 別注材 (参考価格) | 358 |

| | |
|------------|-----|
| 地域材（参考価格） | 359 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| ブランド集成材 | 364 |
| 人工乾燥材 | 364 |
| 合板 | 365 |
| 輸入木材 | 365 |
| 銘木材 | 365 |

10 断熱・気密・防音工事

| | |
|----------------|-----|
| 断熱材の種類 | 368 |
| 断熱材の熱伝導率・厚みの違い | 369 |
| 断熱材の施工 | 370 |
| 断熱工事 | 378 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 断熱材 | 380 |
| 防音材 | 391 |
| 防音・音響ルーム | 392 |

11 屋根・板金工事

| | |
|----------------|-----|
| 屋根・板金工事の見積り 概要 | 398 |
| 屋根材の種類 | 402 |
| 屋根工事 | 403 |
| 板金・とい工事 | 405 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 屋根下地材 | 406 |
| 屋根材 | 406 |
| 換気役物 | 410 |
| 屋根融雪システム | 412 |
| とい | 413 |
| ドレン | 416 |

12 金属工事

| | |
|-------------|-----|
| 金属工事の見積り 概要 | 418 |
| 金属工事 | 419 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 鋼製下地材 | 421 |
| 点検口 | 421 |
| インサート・アンカー | 422 |
| アルミスバンドレル | 423 |

| | |
|------------|-----|
| システム天井 | 424 |
| ピット | 424 |
| グレーチング | 425 |
| 金属階段・階段用部材 | 426 |
| 物干金物 | 427 |

13 石工事

| | |
|------------|-----|
| 石工事の見積り 概要 | 432 |
| 石工事 | 433 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 加工石 | 434 |

14 タイル工事

| | |
|--------------|-----|
| タイル工事の見積り 概要 | 436 |
| タイル張り工法 | 439 |
| タイル工事 | 441 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| タイル | 444 |
| タイル用副資材 | 447 |

15 左官工事

| | |
|-------------|-----|
| 左官工事の見積り 概要 | 450 |
| 左官工事 | 453 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 左官材 | 457 |

16 吹付工事

| | |
|----------------|-----|
| 吹付工事の見積り 概要 | 464 |
| 仕上塗材の種類 | 466 |
| 仕上塗材仕上げと適応する下地 | 467 |
| 吹付工事 | 468 |
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 吹付材 | 470 |

17 外装工事

| | |
|-------------|-----|
| 外装工事の見積り 概要 | 476 |
| 外装工事 | 479 |

〈メーカー公表価格〉
 外装材 480

18 金属製建具工事

金属製建具工事の見積り 概要... 488
 建具の性能表示について 489
 防火設備（防火戸）の
 必要な開口部 489
 住宅用サッシ 490
 窓まわり部材 503
 出入口開口部建具 504
 〈メーカー公表価格〉
 住宅用サッシ 505
 網戸・窓シャッター 506
 室内防音ドア・防火ドア・玄関引戸... 507
 窓まわり部材 508

19 木製建具工事

木製建具工事の見積り 概要... 512
 開戸・引戸工事 514
 障子工事 519
 襖工事 521
 〈メーカー公表価格〉
 開戸・引戸 524
 板戸・格子戸 526
 窓枠 527
 障子・襖 527
 木製間仕切 527

20 建具金物

建具金物 530
 〈メーカー公表価格〉
 ドア錠 531
 ドア用部材 534

21 ガラス工事

ガラスの解説 540
 ガラス工事 542

〈メーカー公表価格〉
 ガラス 545
 住宅用ミラー 548
 ガラス用遮熱コーティング・
 ガラスフィルム 549

22 塗装工事

塗装用語の定義・
 塗料の種類と適用素地 552
 建具塗装係数表 553
 塗装工事 554
 〈メーカー公表価格〉
 塗料 557
 接着剤 567

23 内装（床）工事

内装（床）工事の見積り 概要... 570
 フローリング工事 572
 畳工事 574
 繊維床（カーペット）仕上げ工事... 576
 ビニル床仕上げ工事 577
 ビニル幅木工事 578
 〈メーカー公表価格〉
 フローリング材 579
 畳 585
 天然素材床 587
 繊維床 587
 ビニル床材 587
 塗り床 588
 すべり止め 588
 二重床 588

24 内装（壁・天井）工事

内装（壁・天井）工事の見積り
 概要 590
 内装用化粧ボード工事 592
 壁装（クロス）工事 593
 〈メーカー公表価格〉
 壁・天井材 594

壁装材 (クロス・シート) …… 599

25 室内装飾・家具工事

室内装飾工事 …… 604
 家具工事 …… 608
 〈メーカー公表価格〉
 室内装飾材 …… 611
 家具建材 …… 614

26 住宅設備機器

住宅設備機器の見積り 概要 … 618
 住宅設備機器 …… 620
 〈メーカー公表価格〉
 キッチン …… 624
 浴室 …… 631
 洗面室 …… 637

27 給排水・衛生工事

給排水・衛生工事の見積り
 概要 …… 642
 給排水・衛生工事 …… 645
 〈メーカー公表価格〉
 配管材料 …… 654
 配管用水処理装置 …… 657
 排水金具・排水ポンプアップ槽・
 便槽 …… 658
 トイレ …… 659
 アクセサリー …… 661
 水栓金具 …… 663

28 給湯設備工事

給湯設備工事の見積り 概要 … 666
 給湯設備工事 …… 672
 ガス配管工事 …… 674
 〈メーカー公表価格〉
 給湯設備機器 …… 676

29 冷暖房・空調設備工事

冷暖房・空調設備工事の見積り
 概要 …… 682
 冷暖房・空調設備工事 …… 686
 〈メーカー公表価格〉
 冷暖房・空調設備機器 …… 690

30 電気設備工事

電気設備工事の見積り 概要 … 698
 電気設備工事 …… 701
 〈メーカー公表価格〉
 引込ポール・住宅用アンテナほか … 705
 分電盤・配線器具 …… 706
 照明器具 …… 706
 創エネシステム …… 709

31 昇降設備工事

昇降設備工事の見積り 概要 … 714
 〈メーカー公表価格〉
 昇降設備 …… 715

32 防火・防犯・防災

防火・防犯・防災 …… 718
 〈メーカー公表価格〉
 防火・防犯・防災 …… 719

33 防蟻・防湿工事

防蟻工事 …… 724
 〈メーカー公表価格〉
 防蟻・防湿材 …… 725

34 外構・造園工事

植栽工事 …… 730
 竹垣・庭園添景物工事 …… 735
 外構工事 …… 738

| | |
|------------|-----|
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| ガーデン資材 | 740 |
| 側溝 | 744 |
| 舗装材 | 745 |
| 塀・フェンス | 747 |
| 門扉 | 750 |
| 門柱 | 751 |
| 表札 | 751 |
| ポスト・宅配ボックス | 752 |
| メーターボックス他 | 753 |
| 車庫 | 754 |
| 車止め | 757 |
| 駐輪設備 | 758 |
| 人工芝 | 759 |
| 屋上・壁面緑化材 | 759 |
| 鳥類飛来防止装置 | 760 |

35 商業・店舗工事

| | |
|-------------------|-----|
| 〈メーカー公表価格〉 | |
| 屋内仮囲い・サイン・ビニルカーテン | 766 |
| 店舗用テント・キャンパス | 767 |
| 店舗・施設用ドア | 768 |
| シャッター | 770 |
| パーティション | 772 |

| | |
|------------|-----|
| 装飾建材 | 773 |
| スペースアクセサリー | 775 |
| 人工樹木 | 777 |

法規 新築戸建て住宅法規チェックリスト

| | |
|-----------|-----|
| 法規チェックリスト | 779 |
| 関連図書案内 | 786 |

資料 参考資料

| | |
|--------------------------------|-----|
| 主要資材の価格推移 | 788 |
| 住宅着工統計 | 790 |
| 令和8年3月から適用する 公共工事設計労務単価について | 794 |
| 建設廃棄物収集・運搬費、処理・処分費 | 800 |
| 設計図面記号 | 804 |
| 住宅等防災技術評価制度 | 812 |
| 項目名索引 | 815 |
| 企業名索引 | 822 |
| 広告索引 | 831 |
| 取扱書店 | 833 |
| 編集協力 | 837 |

住まいの建材と見積り

積算資料 **ポケット版** WEB

<https://www.pocket-ban.com/>

特集Ⅱ

住宅基礎設計の最新動向

住宅に大きく関わる日本建築学会が定める「小規模建築物基礎設計指針」が17年ぶりに改定された。この改定にあたり、実施したアンケート結果によって判明した住宅基礎設計の現状と課題を紹介するとともに、基礎地盤に関する対策や傾向をとりまとめ、地盤調査と地盤を改良する際の計画のポイントを概説する。

Ⅱ-① 小規模建築物基礎設計に関するアンケート結果から見た住宅基礎設計の現状と課題

報国エンジニアリング株式会社
技術部課長 小川 正宏

Ⅱ-② 戸建て住宅における地盤調査・地盤改良計画のポイント

株式会社トラバース
技術本部 執行役員 相沢 彰彦

Ⅱ-1

小規模建築物基礎設計に関するアンケート結果から見た住宅基礎設計の現状と課題

● 報国エンジニアリング株式会社 技術部課長 小川 正宏

① はじめに

小規模建築物基礎の設計には、日本建築学会から刊行された「小規模建築物基礎設計指針(2008年刊行)」(以下、小規模指針と記す)が広く参考図書として利用されている。小規模指針は、当時の最新の知見が反映されたものであるが、刊行の2008年から十数年経過しており、実務レベルでは技術の向上や、宅地を取り巻く環境と宅地の安全に対する意識の変化などが生じていると考えられる。そこで、小規模建築物基礎に携わる実務者を対象として実施したアンケートの結果を基に、小規模建築物基礎設計の現状について分析し、小規模指針改定のための参考資料とした。

また、アンケート結果により住宅基礎設計の現状と課題が判明したので、以下に紹介したい。

② 小規模建築物基礎設計に関するアンケート調査

(1) アンケートの狙いについて

小規模建築物は規模が小さく、建物価格の面から地盤調査にかかる費用は相対的に低くなる反面、規模の大きな建築物では問題にならない数センチメートルの沈下が瑕疵に繋がるような傾斜角に至る可能性を有している。仮に規模の大きな建築物の設計時と同等の地盤情報を得ようとしても、地盤補強工事に近い費用になってしまうという複雑な事情が挙げられる。そのため、費用対効果の観点から、地盤調査に費用を十分に掛けるという考え方には至りにくい。ま

た、建築物自体は軽いため、地震時に地盤および基礎が原因で被災しても、ある程度の修復により継続使用が可能であることが多い。以上は、小規模建築物が規模の大きな建築物と異なる特徴の例である。

そのような小規模建築物における事情を考慮して、日本建築学会より1988年に「小規模建築物基礎設計の手引き」が刊行され、その後継として2008年に「小規模建築物基礎設計指針」が刊行された。小規模指針は、2000年に改正された建築基準法への対応、液状化問題、地盤に起因する建築物のトラブルなど複雑な諸問題に対応するため、小規模建築物の地盤調査と基礎設計に関する技術水準の向上を目指している。ポイントとして、【上部構造からの力の流れに応じた構造計算の推奨】【事前調査を充実し、原位置試験のスウェーデン式サウンディング試験(当時の呼称)結果を補足する】【杭基礎は扱わない。小口径杭と地盤改良は地盤補強とし、地盤補強上の直接基礎形式を対象とする。】【施工・品質管理を充実する】【造成宅地地盤の安全性】が挙げられている¹⁾。

今回のアンケート調査では、前回の指針改定部分にも着目しつつ、今回の指針改定に向けて参考になるようにアンケート質問の構成を心がけた。特に着目点は、「地盤調査」、「沈下の評価」、「地盤補強工法」および「液状化の予測」などの実態の把握である。

(2) アンケート実施の概要

本アンケートの質問は大きく「回答者の属性」「地盤調査」「地盤評価」「液状化」「既存擁壁」についての項目から構成されており、小規

Ⅱ-2 戸建て住宅における地盤調査・地盤改良計画のポイント

● 株式会社トラバース 技術本部 執行役員 相沢 彰彦

① はじめに

2000年4月に施行された「住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）」により、基礎、柱、屋根などの主要構造部分に10年間の瑕疵担保責任が生じることとなった。これにより、地盤調査は事実上義務化され、地盤が弱いと判断された場合には地盤改良が行われるようになり、地盤改良技術も広く普及した。

ここで、「地盤保証」についても触れておく。地盤保証とは、地盤調査や地盤改良を実施したにもかかわらず、地盤が原因で建物が傾くなどの損害（不同沈下）が発生した場合に、建物および地盤の修復費用などを保証するものである。地盤保証への加入は、法律上の義務などはないが、瑕疵担保責任を負う設計者にとっては地盤リスクのヘッジとして一般的に利用されてきた。ただし、地盤保証には保証の対象外となる免責事項が存在する。主な免責事項は、自然災害（地震、液状化現象、洪水など）が原因で発生した地盤沈下や近隣工事など予期できない第三者の行為による影響で地盤沈下した場合である。しかしながら近年では、過去の災害履歴などから予測できる地盤沈下として設計者の責任の範疇とみなされる可能性も否定できない。つまり、地盤保証への加入だけでは万全なリスクヘッジとはいえず、技術者として適切な地盤調査および地盤改良計画を立案することが重要である。

そこで本稿では、戸建て住宅における地盤調

査・地盤改良計画のポイントについて概説する。

② 宅地に潜むリスクとは何か

宅地におけるリスクには、常時におけるリスクと災害時におけるリスクが存在する。また、被害の種類は建物の沈下に限らず、床下・床上浸水や工作物の変状などがある（表-1）。なかでも建物の沈下に関わる主なリスクとしては「圧密沈下」「主に雨水の浸入に起因する沈下（豪雨による浸水）」「液状化」「擁壁の倒壊」が挙げられる。

「圧密沈下」は、飽和粘性土^{*1}において圧密降伏応力を超える荷重が加わることで、間隙水が排水され沈下が生じる現象であり、住宅荷重だけでなく新規に盛土されたことにより荷重が加わるケースや対象土が有機質土^{*2}の場合に発生しやすい（図-1）。

「主に雨水の浸入に起因する沈下」は、盛土や埋め戻し土といった不飽和土^{*3}に対し、主に

表-1：宅地に潜む主なリスク

| | 被害の種類 | | | 宅地に潜むリスク |
|-----|-------|--------|-------|----------------|
| | 建物沈下 | 床上・下浸水 | 工作物変状 | |
| 常時 | ● | | | 圧密沈下 |
| | ● | | | 主に雨水の浸入に起因する沈下 |
| 災害時 | ● | | | 液状化 |
| | ● | | ● | 擁壁の倒壊 |
| | ● | ● | | 豪雨による浸水 |
| | | | ● | ブロック塀の倒壊 |

※1：土粒子と水で構成され、隙間に空気を含まない粘性土

※2：有機成分を5%以上含む土

※3：土粒子と水と空気とで構成された土

特集Ⅲ

脱炭素時代の すまいづくり

省エネルギー化を進める新たな基準
「GX ZEH」のコスト試算

特集Ⅲ



脱炭素時代のすまいづくり

- 省エネルギー化を進める新たな基準「GX ZEH」のコスト試算 -

■（一財）経済調査会 出版事業部 企画調査室

① はじめに

2025年9月、経済産業省は従来のZEH定義を見直し、新たに「GX ZEH（ジーエックス・ゼッチ）」および「GX ZEH-M（ジーエックス・ゼッチ・マンション）」を公式に定義しました。これは、住宅分野での省エネルギー性能の一層の引き上げと、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の自家消費拡大を制度として明確に位置づけるための措置です。適用は2027年4月から開始され、移行措置として現行ZEHの新規取得は2028年3月まで認められる見込みとなっています（既取得の現行定義は有効とされています）。

本稿では、戸建て住宅にかかる新基準「GX ZEH」の定義見直しの背景と理由を整理したうえで、その初期コストについて、従来基準（現行ZEHおよび省エネルギー基準）との比較を検証します。

② ZEH定義見直しの背景

「第6次エネルギー基本計画」（2021年10月閣議決定）において、「2050年カーボンニュートラルの実現」に向け、「2050年に住宅のストック平均でZEH基準の水準の省エネルギー性能が確保されていることを目指す」ことを掲げ、その目標達成のために「2030年度以降新築される住宅について、ZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指し、整合的な誘導基準・住宅トップランナー基準の引上げや、省エネルギー基準の段階的な水準引上げを遅くとも2030年までに実施する」とする政策目標

を設定しています。

省エネルギー性能牽引の担い手であるZEHには、今後、より高い省エネルギー性能を掲げることが期待されており、また、再生可能エネルギーの自家消費の拡大を促進するため、ZEHの定義見直しについて検討され、新しいZEHの定義「GX ZEH（戸建住宅・集合住宅）」が作成されました。

③ GX ZEHの定義

広義のGX ZEHは達成レベルや建築条件に応じて4つの区分（シリーズ）に分類され、総称して「GX ZEHシリーズ」と呼ばれます。4つの区分の定義は図表-1に、具体的な要件については、図表-2にまとめました。

④ 現行ZEHからの変更点

1) 断熱等性能、一次エネルギー消費量削減率

現行ZEHの要件は、断熱等性能等級5、一次エネルギー消費量の20%以上の削減（再エネ除く）でしたが、前述の通りGX ZEHは断熱等性能等級6、同35%以上の削減へと強化されました。

2) 設備要件

GX ZEHでは自家消費を中心に考え、再生可能エネルギーは敷地内（オンサイト）、かつ全量買取ではなく、余剰電力の買取に限定されています。また、定置用蓄電池の導入が必須となり、さらに、エネルギー計測装置（HEMS等）により、再生可能エネルギーの発電量を把握

トピックス

152

「みらいエコ住宅2026事業」の
創設について

国土交通省 住宅局 住宅生産課

158

「労務費に関する基準」について

国土交通省 大臣官房参事官(建設人材・資材)付

171

住宅外皮マイスター資格制度の
概要について

一般社団法人 住まいの屋根換気壁通気研究会

省エネ性能の高い住宅の新築・リフォームに対する支援 ～「みらいエコ住宅2026事業」の創設について～

国土交通省 住宅局 住宅生産課

を経て、同年12月16日に予算が成立したところ
です。

これらの事業を包括した「住宅省エネ2026
キャンペーン」は、従来のキャンペーンと同様
に、国土交通省、経済産業省及び環境省の3省
連携で行うこととしております。

1 はじめに

こどもみらい住宅支援事業（令和3年度補正
予算）、こどもエコすまい支援事業（令和4年
度補正予算）、子育てエコホーム支援事業（令
和5年度補正予算）、子育てグリーン住宅支援
事業（令和6年度補正予算）などを通じて、
「GX志向型住宅」、「ZEH水準住宅」及び「長期
優良住宅」の新築や購入、既存住宅の省エネ改
修を推進してきたところであり、住宅・建築物
の省エネ化に向けた政府目標の実現に向けて、
今後もこうした取組を一層加速していく必要が
あります。

令和7年11月21日に閣議決定された「『強い
経済』を実現する総合経済対策～日本と日本人
の底力で不安を希望に変える～」において、エ
ネルギーコスト上昇に強い経済社会の実現に向
け、「家庭等における省エネ化、建物の断熱性
向上、(中略)を進める。」方針が示されました。

これを受けて、

- ・ みらいエコ住宅2026事業
(国土交通省・環境省)
- ・ 先進的窓リノベ2026事業(環境省)
- ・ 給湯省エネ2026事業(経済産業省)
- ・ 賃貸集合給湯省エネ2026事業
(経済産業省)

を盛り込んだ令和7年度補正予算案が令和7年
11月28日に閣議決定され、その後の国会審議

2 「みらいエコ住宅2026事業」の概要

本事業は、2050年カーボンニュートラルの
実現に寄与する良質なストック形成を図るた
め、「ZEH水準住宅」や「長期優良住宅」の新
築、特に高い省エネ性能等を有する「GX志向
型住宅」の新築及び省エネ改修等への支援を実
施し、物価高の影響を受けやすい住宅分野の省
エネ投資の下支えを行うことを目的としており
ます。

1. 補助対象事業のタイプ・補助額

(1) 補助対象事業

1) 住宅の新築(注文住宅・分譲住宅・賃貸住宅)
住宅の新築(注文住宅・分譲住宅・賃貸住
宅)を対象とした補助制度においては、すべて
の世帯を対象とした「GX志向型住宅」、子育て
世帯^{*1}や若者夫婦世帯^{*2}が自ら居住することを
目的とした「長期優良住宅」及び「ZEH水準
住宅」を補助の対象としています。この際、床
面積について延べ面積が50m²以上240m²以下
の住宅を対象とし、土砂災害特別警戒区域など

※1 子育て世帯とは、申請時点において、子を有する世帯とする。子とは令和7年4月1日時点で18歳未満(すなわち、平成19(2007)年4月2日以降出生)とする。ただし、令和8年3月末までに工事着手する場合には、令和6年4月1日時点で18歳未満(すなわち、平成18(2006)年4月2日以降出生)の子とする。

※2 若者夫婦世帯とは、申請時点において夫婦である世帯とする。若者夫婦とは令和7年4月1日時点でいずれかが39歳以下(すなわち、昭和60(1985)年4月2日以降出生)とする。ただし、令和8年3月末までに工事着手する場合には、令和6年4月1日時点でいずれかが39歳以下(すなわち、昭和59(1984)年4月2日以降出生)の世帯とする。

設計・見積り 実例

会津建設（福島県福島市）

若手大工の育成を兼ねた単身者向け平屋の分譲住宅 …… 176

事業者が解説 **見積り** **深掘り** …… 192

注目の取り組み紹介 大工育成は「未来への投資」 …… 194

国工務店（東京都江戸川区）

狭小地を生かした、光を取り込む2階+ロフトの住まい… 198

事業者が解説 **見積り** **深掘り** …… 209

見積り **深掘り** **PLUS+ONE** 「小さく建てて大きく暮らす」… 211

木族の家（長野県松本市）

5人家族の暮らしに寄り添う、木の住まい …… 213

注目の話題

「確認申請」、混乱は落ち着いた？
法改正後1年の振り返り & 事業者が備える遅延対策 …… 224



若手大工の育成を兼ねた 単身者向け平屋の分譲住宅

物件概要

| | | | |
|------|---------------------|------|------------------------------|
| 所在地 | 福島県福島市 | 工期 | 設計：3カ月 工事：9カ月 |
| 竣工年月 | 2024年12月 | 工事費 | 28,700,000円（税抜） |
| 構造種別 | 木造在来軸組工法 | | 消費税：2,870,000円 |
| 建築面積 | 86.67m ² | | 合計：31,570,000円（総額） |
| 延床面積 | 85.01m ² | 概算費用 | 371,000円/m ² （税込） |
| 家族構成 | 1人 | | |

工事に至った経緯

令和二年国勢調査の福島市内の全世帯の類型別比率を見ると、単独（単身）世帯が約37%と最も多く、さらに、その年齢構成は60代以上が約38%を占めている状況です。

こうした背景から、本計画では、60代以上の単身者を主なターゲットとした平屋建て建売住宅として企画されました。

また、本事例では、若手大工の育成を重要な目的の一つとしています。施工管理から若手に任せることで、建設プロセスをより深く理解し、施工技術の向上を図るとともに、若手自身が自らの力量を確認する機会を提供しました。これにより、技術習得と自己評価の場を同時に実現し、人材育成を効果的に促進しています。

工事の概要

本住宅は、単身高齢者の暮らしを想定した平屋建てとして計画されました。

室内の移動を妨げる段差を極力なくし、全室を引き戸とすることで、安全性と使いやすさに配慮しています。また、玄関ホールから水まわ

りへつながらる廊下は幅1200mm以上を確保し、車椅子での通行や人とのすれ違いにも対応。さらに北側にトップライトを設置し、安定した自然光を確保することで、採光面においても快適性と安全性を重視しています。

全体ではコの字型のプランとし、リビングや和室から中庭を眺められるように設計。日常の中で自然を身近に感じられる住空間を実現しました。さらに、リビングを高天井とすることで、実際の畳数以上の広がりや開放感を演出しています。

カウンターや可動棚、フローリングなどは既製品を使用せず、自社が保有する木材を活用。和室の天井には青森ヒバの羽目板を採用し、室内に入った際に木のやさしい香りを感じられる点も特徴です。

和室だけでなく、リビング・ダイニングも真壁仕上げとすることで、自社の「木へのこだわり」を表現し、空間全体に一体感を生み出しています。

外観は白い外壁を基調とし、玄関部分に木目調を取り入れることで、アクセント効果とともに、こちらも木の魅力を活かしたデザインとなっています。

事業者が 解説



見 積 り 深 掘 り

会津建設 株式会社(福島県福島市)

事業者 DATA

〈創業〉1953年 〈資本金〉4,980万円 〈従業員数〉72人

家づくりのモットーは「良い木」「確かな腕」。製材業から出発したこともあり、良質な木材にこだわって年間40～50棟の新築を手掛ける。従業員の3分の1を職人が占め、社員大工の育成には特に力を注いでいる。

◎解説：佐藤将康さん（会津建設株式会社 常務取締役／一級建築士）

深掘り point 1

ターゲット・仕様の設定

福島市は、国勢調査の結果によると単独（单身）世帯が約4割と、夫婦のみの世帯や夫婦＋子どもの世帯よりも多いこともあり、単身の高齢者向けの平屋の分譲住宅を計画しました。

また、福島市では土地にかかる費用は1,000万円程度がボリュームゾーンなのですが、今回の建設地は比較的地価が高い地域（約1,600万円）ということもあり、購入者はある程度余裕がある層に限られることが予想されました。そのため、仕様もそれに見合った水準とすることを目指しました。

深掘り point 2

断熱・耐震性能について

価格に見合う水準ということで、この物件で最も注力したのは断熱性能です。同分譲地の別区画で「ふくしまZEH（F-ZEH）」仕様の注文住宅を施工していたこともあり、この物件もそれと同等の水準を目指しました。付加断熱と高断熱サッシを採用し、高气密高断熱を実現しています。また、高齢者向けの住宅なので、単純に暖かい家にしたいという思いもありました。

耐震性能は、当社では耐震等級3を標準としています。この物件では、繰り返しの地震にも高い効果を発揮する「ブレースリークII型」を採用し、耐震性を高めています。

深掘り point 3

内装・外装について

全棟共通の標準仕様はなく、お施主様の要望や予算に応じて柔軟に提案しています。

今回の物件では断熱に力を入れたほか、内装ではリビングのテレビ裏にブラックウォールナットのデザインウォールを採用するなど、質を高めることを目指しました。その分外装材は標準的な窯業系サイディングにして、全体的なコストのバランスを取りました。

深掘り point 4

真壁造りへのこだわり

当社は伝統的な大工技術の継承を大事にしていて、大工育成に力を入れています。同時に、製材業から出発していることもあり木材も良質なものにこだわっているので、「大工の仕事」と「木の良さ」が最大限に表現できるということで、この物件では和室とリビングダイニングに真壁造りを採用しました。

※会津建設の大工育成の取り組みは194ページでも詳しく紹介しています。

深掘り point 5

エコキュートについて

この物件も含め、当社で施工する住宅の9割以上はエコキュートを採用しています。省エネ

大工育成は「未来への投資」 ～「技術を継ぐ」工務店の、大工育成の仕組み～

会津建設株式会社



職人不足が深刻化するなかで、大工育成を事業の根幹に据え、長期的な視点で取り組みを続けてきたのが福島県の会津建設です。176ページからの「設計・見積り実例」で紹介したように、同社では若手大工の育成の場として分譲住宅を活用するなど、独自の取り組みを進めています。その背景には、社長の芳賀さん自身の大工不足への強い危機感があります。

ない」という事実でした。

また、同社ではかつて県認定の職業能力開発校を運営していた時期があったものの、景気低迷等の影響もあり大工育成が途切れ、30代の大工が極端に少ない年齢構成となっていました。このままでは、数年後に現場の中核を担う世代がいなくなる。契約を取れても、施工できなければ事業は成り立たない――。

東日本大震災で痛感した 「大工の必要性」

大工育成に注力するきっかけの一つとなったのは、東日本大震災です。瓦屋根の建物が多い地域特性もあり、震災当時は地震によって瓦がずれたり落下したりする住宅からの相談が相次ぎました。早急な対応が求められる一方で、職人不足により修繕が追いつかない状況が重なる中、突きつけられたのは「**大工の人数が足りなければ、できる仕事の範囲が狭まってしまう**」、ひいては「**災害などが起きた場合に地域を守れ**

こうした思いを強くした芳賀さんは、東日本大震災後の除染や建設による復興特需で蓄積された内部留保を元手に、会社の将来のために「**人**」に投資する決断をします。

「家づくりは作り手づくり」という考えのもと

お話を伺ったのは……

芳賀一夫さん

会津建設株式会社 代表取締役。一級建築士。
1999年に2代目として会社を引き継ぎ、社員大工の育成に注力する。



「確認申請」、
混乱は落ち着いた？

法改正後1年の振り返り & 事業者が備える遅延対策

2025年4月に施行された建築基準法の改正は、4号特例の縮小をはじめ、住宅の確認申請の実務に大きな影響を与えました。改正直前は駆け込み需要、そして改正直後は手戻り等による審査遅延が相次ぎ、現場では混乱が広がりました（2025年10月発刊の「リフォーム編2026」にも関連記事を掲載）。

それから約1年。建築確認・検査に関する現状や、申請遅延を防ぐために事業者ができることについて、昨年リフォーム編でも取材をしたハウスプラス住宅保証株式会社に改めてお話を伺いました。

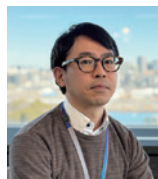
※取材日：2026年1月

お話を伺ったのは……

ハウスプラス住宅保証株式会社



家納吾郎さん
取締役
オペレーション統括
本部 審査部長



長谷川直哉さん
オペレーション統括
本部 審査部
確認検査室長

PART 01 混乱は収束へ向かっている？ 建築確認・検査の現状

まずは、この1年の建築確認・検査の現場を家納さんと長谷川さんに振り返ってもらいました。国土交通省が2025年11月10日に公表した「連絡会議参画団体からの情報共有に基づく各業界の状況」（226ページ参照）の内容も踏まえ、確認検査機関としての実感を伺いました。

法改正直後の混乱は収束 現在は1カ月半程度で交付



—改正直後は御社でも確認審査業務がかなり滞っていたと伺いました。その後、業界としては昨年9月頃の時点で「滞りが少し解消されてきた」という報告もありましたが、御社の現在の状況はいかがでしょう。

長谷川 昨年夏頃はかなり滞っていましたが、徐々に解消されてきています。受付から交付までの期間は、平均で45日・1カ月半程度に落ち着いてきました。

—審査が落ち着いた要因は何でしょうか。

長谷川 事業者の皆さんが慣れてきたことが一番大きく、書類のケアレスミスも減ってきています。また当社としても、確認審査にあたる人員を増やすなど体制を強化しました。

—受付から交付までは1カ月半程度を要するとのことですが、この日数は法改正前と比べてどのくらいの違いがありますか。

家納 法改正前は、事前相談を含めて3週間から1カ月程度でした。法改正後は、省エネや構造など審査すべき部分が増えているので、現状より短縮するのは簡単ではないと思います。

価格編

| | | | |
|---------------|-----|---------------|-----|
| 1 仮設工事 | 235 | 20 建具金物 | 529 |
| 2 土・地業工事 | 249 | 21 ガラス工事 | 539 |
| 3 基礎工事 | 255 | 22 塗装工事 | 551 |
| 4 鉄筋コンクリート工事 | 265 | 23 内装(床)工事 | 569 |
| 5 鉄骨・耐火被覆工事 | 273 | 24 内装(壁・天井)工事 | 589 |
| 6 ALC工事 | 287 | 25 室内装飾・家具工事 | 603 |
| 7 防水工事 | 293 | 26 住宅設備機器 | 617 |
| 8 木工事 | 307 | 27 給排水・衛生工事 | 641 |
| 9 木材 | 341 | 28 給湯設備工事 | 665 |
| 10 断熱・気密・防音工事 | 367 | 29 冷暖房・空調設備工事 | 681 |
| 11 屋根・板金工事 | 397 | 30 電気設備工事 | 697 |
| 12 金属工事 | 417 | 31 昇降設備工事 | 713 |
| 13 石工事 | 431 | 32 防火・防犯・防災 | 717 |
| 14 タイル工事 | 435 | 33 防蟻・防湿工事 | 723 |
| 15 左官工事 | 449 | 34 外構・造園工事 | 729 |
| 16 吹付工事 | 463 | 35 商業・店舗工事 | 765 |
| 17 外装工事 | 475 | | |
| 18 金属製建具工事 | 487 | | |
| 19 木製建具工事 | 511 | | |

●価格の見方については、230、231頁「本書の見方」をご覧ください。

●諸経費について

価格編の材料価格・材工共価格・手間価格には下請け会社(専門工事事業者)やメーカーの諸経費は含まれていますが、元請けである工務店の諸経費は含まれていません。

本 書 の 見 方

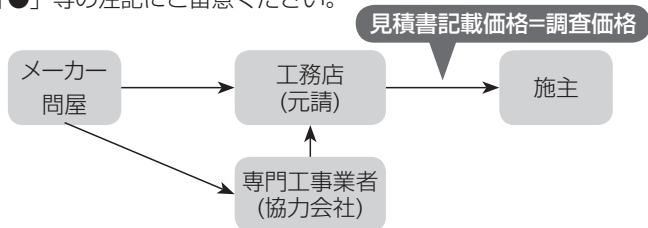
本書は住宅や店舗の設計・施工を手がける設計事務所や工務店が、施主向けの見積書を作成する際に活用する価格資料です。新築の見積書作成の流れに沿って、材料価格・材工共価格・手間価格を35の工種に分類し、掲載しています。

◆ 掲載価格の種類

価格は、当会が調査し決定した**調査価格**と、**メーカー公表価格**を掲載しています。調査手法と調査時期は下記のとおりです。

| 掲載価格の種類 | 調査手法 | 調査時期 |
|---|---|---|
| 調査価格 (経済調査会調べ) 民間での一般的な戸建て注文住宅等において、主に受注者が施主に提示する見積書等の記載価格を対象としています。そのため、実際の取引価格を調査の対象とはしていません。 なお、掲載価格は各々の取引価格を拘束するものではありません。 | 1 調査対象 設計・施工監理実績のある設計事務所等より推薦を受けた工務店を対象としています。工務店が専門工事業者に外注する工事については、専門工事業者も対象にしています。 2 価格の決定までの流れ ①対象事業者に調査を依頼→②調査票の回収ならびにヒアリング等→③粗集計→④当会による検証・価格決定 | 調査は12~2月に実施しており、調査地区は首都圏主要都市および近郊を基本としています。工種によっては地区間の価格差が顕著な場合もありますので留意ください。 |
| メーカー公表価格 メーカーや販売店等、資器材の供給者が公表している価格(カタログ価格・設計価格)です。受注者が施主に提示する見積書等の記載価格とは異なる場合があります。 | 流通実績のある工法や商品情報を当会が調査・収集し、掲載しています。価格は、一般に公表されている価格で、面接および書面を併用して確認しています。 | 調査時期は上記と同じです。 本書発行後に仕様・価格などが変更される場合がありますので、採用にあたっては、メーカー・取扱い店等に確認してください。 |

価格表下部の「●」等の注記にご留意ください。



◆ 価格の表示

| 区分・名称 | 内 容 | 本書での表記例 |
|-----------------|---------------------------------|--------------------|
| 材料価格 | 材料（資材、製品）のみの価格 | 材料費 |
| 材工共価格 | 材料+手間+副資材の合算価格 | 材工共 |
| 手間価格 | 取付手間、施工手間、工賃。副資材で軽微なものは含む場合もある。 | 手間 |
| ※その他：損料やリース料金など | | 〇〇料金、〇〇費、 〇〇金など |

◆ 価格条件

1. 金額単位・消費税

金額単位はすべて円です。原則として消費税抜きの価格を掲載しています。消費税を含む場合は「**税込**」の表示をしています。

2. 諸経費

価格編の材料価格・材工共価格・手間価格には下請会社（専門工事業者）やメーカーの諸経費は含まれていますが、元請である工務店の諸経費は含まれていません。

諸経費は、通常、現場管理費（現場を維持するため必要な経費）と一般管理費（会社を維持するため必要な経費）から構成されます。主な内容は下表のとおり。

| 費目名 | 内 容 |
|--------|--|
| 現場管理費 | 労務管理費、租税公課、保険料、従業員（作業員）給与手当、施工図等作成費、退職金、法定福利費、福利厚生費、事務用品費、通信交通費、補償費、その他 |
| 一般管理費等 | 役員報酬、従業員（事務員）給与手当、退職金、法定福利費、修繕維持費、事務用品費、通信交通費、動力用水光熱費、調査研究費、広告宣伝費、交際費、寄付金、地代・家賃、減価償却費、租税公課、保険料、契約保証費、雑費、営業利益、その他 |

※諸経費は工事原価に一定の率（会社によって異なる）で計上しますが、新築工事の諸経費は、通常の場合10～25%は必要だといわれています。

3. 施工規模・数量

一般の戸建住宅1棟を建設するのに用いる数量を想定しています。ただし、価格欄に施工規模が記入されている品目については、それが優先となります。

また、ビル等の大型物件に用いる価格は、当会発行の「積算資料」「建築施工単価」をご参照ください。

主な工種の価格推移

経済調査会調べ

| 工種 | 名称・規格・仕様 | 単位 | 材工別 | 2025 | 2026 | 2025-26 変動率(%) |
|----------------|---|------------------|-----|---------|---------|-------------------|
| 仮設工事 | くさび緊結式足場 ブラケット側足場 高10m未満 在置1カ月 | 架m ² | 材工共 | 980 | 1,090 | 11.22 |
| 基礎工事 | ベタ基礎概算単価 立上り幅150mm、厚200mm 70m ² 以上100m ² 未満 | 床m ² | 材工共 | 55,700 | 65,000 | 16.70 |
| 木工事 | 石こうボード(GB-R) 平ボード 不燃 厚12.5×幅910×長1820mm | 枚 | 材料費 | 770 | 770 | 0.00 |
| 木材 | 柱 杉(KD) 3.0m×10.5×10.5cm 特一等(東京単価) | m ³ | 材料費 | 78,000 | 78,000 | 0.00 |
| 断熱・気密・ 防音工事 | 高性能グラスウール断熱材16K 壁 厚105mm | m ² | 材工共 | 2,040 | 2,070 | 1.47 |
| 屋根・ 板金工事 | 化粧スレート 標準工事 切妻 | 屋根m ² | 材工共 | 5,440 | 5,930 | 9.01 |
| 左官工事 | コンクリート面直均し金ごて 薄張物下地 直均し仕上げ | m ² | 手間 | 1,080 | 1,150 | 6.48 |
| 外装工事 | 窯業系サイディング 16×455×3030mm 塗装品 普及グレード | m ² | 材料費 | 6,440 | 6,490 | 0.78 |
| 金属製 建具工事 | アルミ樹脂複合サッシ16520 網戸・取付工事費を含む | 窓 | 材工共 | 115,270 | 121,870 | 5.73 |
| 木製建具工事 | フラッシュドア注文建具 1枚ガラス Aランク | 本 | 材料費 | 45,900 | 47,000 | 2.40 |
| 内装(壁・天井) 工事 | 壁装(クロス)工事 量産品+下地調整 +クロス貼り(無地系) | m ² | 材工共 | 1,300 | 1,360 | 4.62 |
| 住宅設備機器 | システムキッチン 壁付I型 間口寸法2250mm | 台 | 材料費 | 400,000 | 468,000 | 17.00 |
| | システムバス サイズ1616(1坪) FRP浴槽 | 組 | 材料費 | 645,000 | 662,000 | 2.64 |
| 給排水・ 衛生工事 | トイレ(洋風便器) 組合せタイプ タンク式 温水洗浄便座 手洗有 | 組 | 材料費 | 138,000 | 149,000 | 7.97 |
| 給湯設備工事 | エコジョーズ 24号 屋外壁掛式(設置フリー) フルオート 追い焚き | 台 | 材料費 | 245,000 | 245,000 | 0.00 |

仮設工事 1

調査価格 (経済調査会調べ)

仮設

| 名称 | 規格・仕様 | 単位 | 単価 |
|-----------------|---|-----|---------------------|
| ◆準備費 | | | |
| 敷地測量費 | 現形測量 施工規模150m ² 程度 | 時間 | m ² 370 |
| 草刈り費 | 肩掛けエンジン機使用 施工規模150m ² 程度 | // | // 190 |
| ◆地盤調査費 | | | |
| スクリューウェイト貫入試験 | 機械式 5カ所 調査深度10m | 式 | 40,000~60,000 |
| 平板載荷試験 | 1カ所 | // | 110,000~180,000 |
| 表面波探査法 | 5カ所 | // | 65,000 |
| 標準貫入試験 | 1カ所 10~15m | // | 110,000~190,000 |
| ◆仮囲い | | | |
| シート張り | 高3.0m 存置3カ月 | 材工共 | m 3,030 |
| // | // // 6カ月 | // | // 3,660 |
| 防音シート張り | // // 3カ月 | // | // 6,010 |
| // | // // 6カ月 | // | // 8,960 |
| 成形鋼板張り | // // 3カ月 | // | // 8,670 |
| // | // // 6カ月 | // | // 9,690 |
| 工事用看板 | 建築確認申請看板 1200×910 | // | 式 10,500 |
| ◆仮設トイレ | | | |
| 仮設トイレ | 汲取式 大小兼用 存置3カ月 1人用 | 材工共 | 棟 52,000 |
| // | // // 6カ月 | // | // 68,000 |
| // | 水洗式 // 3カ月 | // | // 57,000 |
| // | // // 6カ月 | // | // 73,000 |
| ◆動力用水光熱費 | | | |
| 仮設電気費 | 電力料金共 (3~4カ月) 20A 電力会社申請含む | 材工共 | 式 72,000 |
| 仮設水道費 | 水道料金共 水栓柱設置含む | // | // 35,000 |
| ◆やり方 | | | |
| 水盛りやり方 | 地なわ、水杭・水ぬき 木造2階建て 延150m ² 程度 | 材工共 | 建m ² 470 |
| // | // RC、SRC造 延3000m ² 程度 | // | // 420 |
| 平やり方 | 水杭・水ぬき 10カ所程度 | // | カ所 3,950 |
| 隅やり方 | // // | // | // 5,940 |
| たてやり方 | // // | // | // 3,360 |
| ◆墨出し | | | |
| 墨出し | 木造2階建て 延150m ² 程度 | 時間 | 延m ² 520 |
| 躯体墨出し | RC、SRC造 延3000m ² 程度 | // | // 280 |
| 仕上墨出し | // // | // | // 420 |

- 仮囲い、シート類の単価は、賃貸料金。架けの手間および運搬費(往復)を含み、盛替えの費用を含まない。
- シート張り、防音シート、成形鋼板は、支柱、控柱、継手、クランプ共。支柱のピッチは@1800mm程度、控柱のピッチは@3600mm程度とする。
- 仮設トイレは運搬費含む。

キッチン①

メーカー 公表価格

◆システムキッチン

| 品名 | ピアサスS-1 ユーモード | CENTRO | レミュー | ユメリア |
|--|--|---------------------------------|------------------------------|--|
| タイプ | フルオープンファイン モーション引き出し | Bスタイル/スタンダード | — | ハイグレードタイプ |
| 価格ランク | 高級 | | | |
| ワークトップ高 | 850/900 | 800/850/900 | 820/850/900 | 800/850/900 |
| 吊り戸棚 | 700 | 500/700/900 | 700 | 500/700 |
| 奥行 | 650/750/970 | 650/800/980 | 650 | 650 (I型/L型)/744 (対面型) |
| 扉仕様・素材等 | ステンレス(クリア塗装) など | PETシート貼り化粧板、他 | ホーロー | オレフィンシート(マット調・木目柄) PETシート(鏡面・抽象柄/木目柄) DAPシート(鏡面・抽象柄/木目柄) |
| 特記・備考 | ステンレス キャビネット | ステンレス エコキャビネット | — | オールスライド収納 |
| I型 間口寸法 (mm) (食洗機あり) 単価 (材料費) 単位/台 | | | | |
| 2400 | 1,309,400~ | 1,458,500 | 977,500~ | 1,119,000 |
| 2550 | 1,339,300~ | 1,468,900 | 996,000~ | 1,144,000 |
| L型 寸法 (mm) (シンク側×加熱器側) (食洗機あり) 単価 (材料費) 単位/台 | | | | |
| 2400×1650 | — | 1,811,000 | 1,168,500~ | 1,404,000 |
| アイランド型 間口寸法 (mm) (食洗機あり) 単価 (材料費) 単位/台 | | | | |
| 2590 | 2,162,800~ (2570mm) | 2,152,000 (2610mm) | 1,257,000~ | — |
| 対面型 (ペニンシュラ型) 間口寸法 (mm) (食洗機あり) 単価 (材料費) 単位/台 | | | | |
| 2600 | 1,912,400~ (2560mm) | 2,025,000 (2580mm) | 1,319,000~ | 1,374,000 (2574mm) |
| メーカー | 永大産業 TEL0120-685-110 | クリナップ TEL0120-126-174 | タカラスタンダード TEL06-6962-1507 | 長府製作所 TEL03-5369-3511 |
| 品名 | ザ・クラッソ | iNO | セスパ | Lクラス |
| タイプ | 基本プラン | ハイエンド | 基本プラン | グラリオプラン |
| 価格ランク | 高級 | | | |
| ワークトップ高 | 800/850/900 | 850/900/950 | 800/850/900 | 800/850/900(オーダー対応可能) |
| 吊り戸棚 | 500/600/700/980 | 700 | 500/600/700 | 500/600/700/900(オーダー対応可能) |
| 奥行 | 600/650/750/850/970 | 755/900/1050/1260/1460 | 650/830/1000 | 650/750/933(オーダー対応可能) |
| 扉仕様・素材等 | マイスター塗装他 | メラミン・ステンレス・ ピアノ塗装・天然石他 | UV塗装・天然木突板・ ステンレス・メラミン等 | 塗装 天然木突板 PET オレフィン DAP メラミン他 |
| 特記・備考 | 「きれい除菌水」生成器 スクエアすべり台シンク 水ほうき水栓LF | 3Dシンク エアフロー | 3段引出・2段引出 | 有機ガラス系 人造大理石カウンター (グラリオ) |
| I型 間口寸法 (mm) (食洗機あり) 単価 (材料費) 単位/台 | | | | |
| 2400 | 1,001,900~ | 1,521,200~ (2440mm) | 1,250,000~ | 1,176,200~ |
| 2550 | 1,012,800~ | 1,600,200~ (2590mm) | 1,290,000~ | 1,194,200~ |
| L型 寸法 (mm) (シンク側×加熱器側) (食洗機あり) 単価 (材料費) 単位/台 | | | | |
| 2400×1650 | 1,157,500~ | 2,113,200~ (V型1562×1562mm) | 1,460,000~ | 1,696,000~ |
| アイランド型 間口寸法 (mm) (食洗機あり) 単価 (材料費) 単位/台 | | | | |
| 2590 | 1,575,200~ (2590mm) | 1,655,200~ (D755mm) | 1,980,000~ (D1000mm) | 1,721,900~ (2602mm) |
| 対面型 (ペニンシュラ型) 間口寸法 (mm) (食洗機あり) 単価 (材料費) 単位/台 | | | | |
| 2600 | 1,526,400~ (2570mm) | 1,655,200~ (W2590mm D755mm) | 1,770,000~ (D1000mm) | 1,675,900~ (2576mm) |
| メーカー | TOTO TEL0570-01-1010 | トーヨーキッチンスタイル TEL03-6438-1040 | ナスラック TEL052-232-8030 | パナソニック ハウジングソリューションズ TEL0120-878-093 |

●価格ランクは、各メーカー独自の価格基準・製品基準により分類されたものを掲載。